

環境学習フォーラム開催結果概要

1. イベントの概要

名 称：尼崎森と運河の発表会～環境学習フォーラム2024～

日 時：令和6年8月9日（金）12：00～16：00

場 所：尼崎市立小田南生涯学習プラザ 2階3階

プログラム：12：00～16：00 2階ブース出展（資料4-2を参照）

12：30～15：20 3階発表会（資料2 p8～10を参照）

（発表学校・団体）7校・団体

高木北育成センター/兵庫県立尼崎高校/園田学園女子大学/

みのり幼稚園/ネイチャークラブ他/兵庫県立尼崎小田高校/徳島大学

（出展企業・団体）16企業・団体

尼崎信用金庫/尼崎商工会議所/アマテイ株式会社/

AGC株式会社関西工場尼崎事業所/ESR株式会社/株式会社尼漁開発/

株式会社香山組/株式会社研文社/関電ファシリティーズ株式会社/

神鋼鋼線工業株式会社/生活協同組合コープこうべ/

日本製鉄株式会社 関西製鉄所 尼崎地区/日本山村硝子株式会社/

浜田化学株式会社/ひょうご環境創造協会/丸美化成株式会社

広 報：チラシ4,000部（近隣小学校6校全校生徒・公共施設他配布）

県民だより8月号/尼崎市報/西宮市報/FM みんなのあま咲き放送局/

さくらFM/Kiss PRESS 記事/ひょうご環境創造協会メルマガ/

阪神南県民センターX/神戸新聞（8月1日朝刊）/その他各HP

2. 参加者数実績

一 般 来 場 者： 84名（大人59名、子供25名）

発 表 者： 128名（高木北育成センター81名含む）

出展企業・団体： 50名

計262名

3. メディア放送報告

ケーブルテレビ ベイコミュニケーションズ

週間ベイニュース 8月16日（金）～8月22日（木）放送

4. 参加者アンケートの実施

1) アンケートの目的

尼崎21世紀の森構想エリア内で展開されている環境学習の周知を目的として開催した「尼崎森と運河の発表会」の来場者に対し、同イベントの満足度効果、認知度、構想推進に向けたニーズや課題等を調査した。

2) アンケート対象

8月9日（金）に行われた「尼崎森と運河の発表会」（環境学習フォーラム）イベントの来場者（当日パンフレットと共に各グループにつき1部配布）。

3) 設問内容

設問内容については以下の通りである。各設問の具体的な内容については p3～7を参照。

問	設問内容
1	尼崎森と運河の発表会の内容の満足度
2	開催時間等の満足度
3	参加したプログラム
4	イベント参加への動機
5	尼崎の森中央緑地の訪問頻度
6	尼崎運河の訪問頻度
7	興味・関心のある（受けてみたい、子どもに受けて欲しい）環境学習のテーマ
8	イベントをどこで知ったか
9	回答者の年齢層・居住地
10	イベントに関する意見や感想

4) アンケート結果（まとめ）

(1) 回収数：28件

(2) 結果の概要

①イベントの満足度

・「非常に満足」と、「満足」で9割を超え、好評を得た。開催日時にも約9割の方が満足していた。

②イベント参加への動機・イベントをどこで知ったか

・認知については「知人による紹介」が10名、「チラシ」が9名と続いた。
・参加の動機としては「ホールの発表会への興味」、「ブース出展への興味」が同数で最も多く9名ずつ、「先生や知人に誘われて」が8名と続いた。

③尼崎の森中央緑地と尼崎運河の認知度について

・尼崎の森中央緑地は、一度でも足を運んだことがある人が約6割いる一方で、尼崎運河については「知ってはいるが行ったことがない」人が約4割と最も多く、足を運ぶ機会が尼崎の森中央緑地に比べやや少ない事が分かった。

④森構想推進に向けた課題やニーズ（ご意見・ご感想から）

・「今回初めて子どもたちや企業の取組みを知った」という声や「気づきを得た」という声から、「尼崎21世紀の森構想エリア内の環境学習」の認知を広めるという今回のイベントの目的には一定の成果を得られた。
・取組み自体への評価は高い意見が多い一方で、「素晴らしい取組みであるのだからもっと子ども達に知ってほしい、広報に力を入れるべき」との意見も頂いた。

⑤興味・関心のある環境学習のテーマ（資料5-2 p4を参照）

5) アンケート結果（詳細）

質問1. 尼崎森と運河の発表会の内容はいかがでしたか。

非常に満足	12
満足	15
どちらでもない	0
不満	0
非常に不満	0
無回答	1



質問2. 開催時間等についてお伺いします。

（時間帯について）

今回の時間で良い（12：00～16：00）	25
13：00～16：30	1
10：00～12：00	1
無回答	1

（曜日について）

違う曜日が良い（日・火）	1
--------------	---

質問3. ご参加頂いた内容についてお伺いします。（複数回答可）

3階 発表会	17
3階 ホワイエ	6
2階 ブース出展	16

（参加されたブース）

シールラリー5、しごとけんがく3 肥料づくり1 工作1

（特に心に残った発表やブース）

キャンドル作り1、シールラリー1、肥料づくり1

質問4. どのような理由で、ご参加されましたか。（複数選択可）

ホールでの発表内容に興味があったため	9
ブースの出展に興味があったため	9
先生や家族、友人に誘われて	8
夏休みの宿題に役立つため	1
その他	5

※その他：発表した1、娘が出ていた1、上司の紹介1、プラザの職員1、行政書士会1

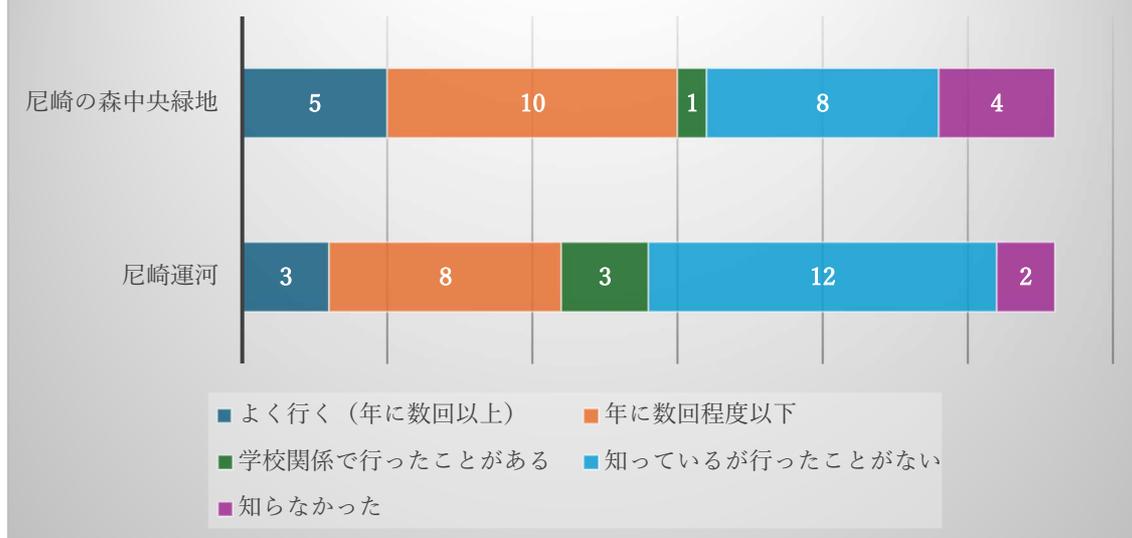
質問5. 尼崎の森中央緑地へ実際にお越しになられたことはありますか。

よく行く（年に数回以上）	5
年に数回程度以下	10
学校関係で行ったことがある	1
知っているが行ったことがない	8
知らなかった	4

質問6. 尼崎運河へ実際にお越しになられたことはありますか。

よく行く（年に数回以上）	3
年に数回程度以下	8
学校関係で行ったことがある	3
知っているが行ったことがない	12
知らなかった	2

質問5, 6 2施設における訪問頻度の比較



質問7.：以下のうち興味・関心のある（受けてみたい、子どもに受けて欲しい）環境学習のテーマについて教えてください。

生物多様性に関する環境学習	18
廃棄物の発生抑制や地球温暖化の対策など	16
社会・地域とのかかわりを知る環境学習	9
尼崎の企業による環境学習	12
その他	0
無回答	2



質問8. このイベントを、どちらでお知りになりましたか。（複数選択可）

本イベントのチラシ	9
県民だより・市報など	1
SNS（Xなど）	1
新聞記事	0
知人・友人から	10
尼崎 21 世紀の森関連のホームページ	1
尼崎 21 世紀の森関連以外のホームページ	0
その他	7
無回答	2

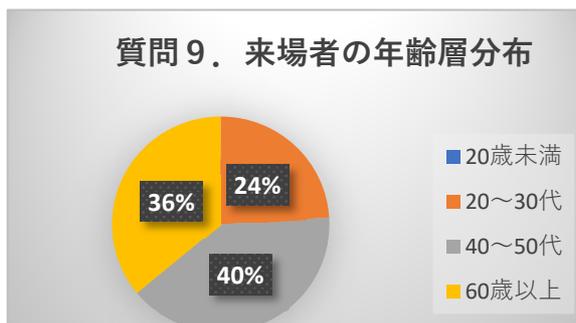
※その他：アマフォレストの会のメール 1、行政書士会 1、商工会議所 1、プラザ 1、
イベント関係者 1、発表者 1、ベイコム 1

※チラシ收受場所：中央図書館、兵庫県西宮庁舎、職場、尼崎の森中央緑地

質問9. あなた自身のことをお伺いします。

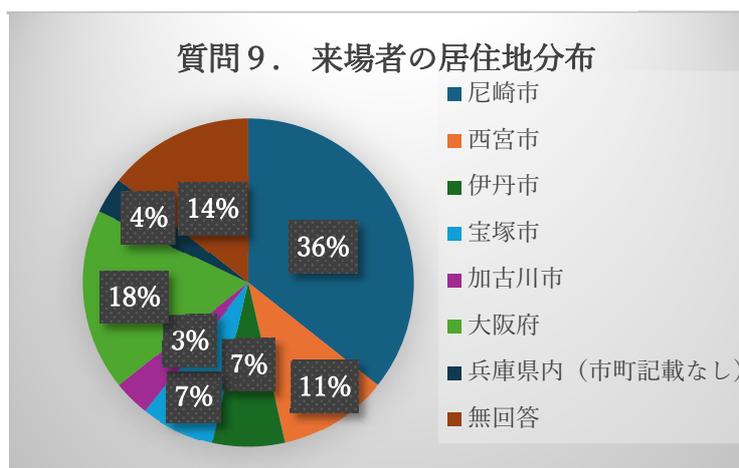
年齢

20歳未満	0
20～30代	6
40～50代	10
60歳以上	9



住所

尼崎市	10
西宮市	3
伊丹市	2
宝塚市	2
加古川市	1
大阪府	5
兵庫県内（市町記載なし）	1
無回答	4



質問10. 今回参加されたご意見・ご感想をお聞かせください。

- 様々な企業の方が親切に教えて頂き、ためになる内容ばかりでした。子供も一緒に楽しめたのが良かったです。
- 17時くらいまでしてほしい。シールラリーためになりました。
- 教員です。企業さんの見本市のようでおもしろかったです。情報交換がたくさん出来ました。
- 企業、学生、学校、皆が自然のために！と調べる姿がとても素敵でした。私も子どもたちと、小さな事でも取り組んでいきたいと思いました。
- 今まで存じ上げなかった企業や、そのSDGsな取組み、製品等が知ることが出来て勉強になりました。自分なりに出来ることをこれからも意識していこうと思いました。もっともっと多くの方々に来て頂けるよう、広報頑張ってください。
- 来年も来たいと思いました。コープのコーナーなど勉強になりました。
- 環境学習の内容について具体的に知ることが出来、良い機会となった。（関わっている団体名とか知らなかった）幼稚園から大学生まで、尼崎の森を通じて、様々な学び舎体験があり、素晴らしい場所だと改めて感じた。
- とても興味のある取組みだと思いました。たくさん子ども達に体験してほしい企画でした。
- とてもおもしろい取組みだと思いました。ありがとうございました。

- 水質浄化改善、森作りにより、魚の増加、生物多様性の増加は素晴らしいと思います。
- とても良かった！
- もっとPRしてほしい！
- 100年にわたる森作りという気長な環境再生の取組みが、確実に実を結び始めている事を発表を通して実感できた。特に都市部に暮らす子ども達がごく気軽に行くことが出来る場所に、豊かな自然環境が育まれているというのは、素晴らしいことだと思う。
- 環境保全をテーマに官民老若男女が集い、学習するという、本発表会は素晴らしい、と思いました。
- 尼崎21世紀の森づくりについて、いろいろな方に知ってもらい良い機会であると共に、森づくりに関わる団体同士のコミュニケーションの場となっている。
- 魚の骨で肥料、廃油でキャンドルを作ったりと、ゴミとして捨てられる物を再利用して活用出来るのは楽しく、ありがたいことだなと思います。

(参考資料) 3階発表会の様子

●開会挨拶：阪神南県民センター長 小林 拓哉



尼崎臨海地域は、交通の要所であり、過去工業で日本を引っ張ってきた地域であった。尼崎臨海地域を舞台とした映画「あまろっく」や、来年度の万博開催に向けて、今まさに注目度も高まっている地域でもある。「尼崎 21 世紀の森構想」は、企業、団体、学校、大学、行政が協働で取り組む自然再生の取組であり、日本を代表する取組である。構想に基づき展開されている様々な環境学習の取組を、発表会を通じて広く知って頂きたい。

●尼崎の森中央緑地の環境学習について：尼崎の森中央緑地生物多様性チーム コーディネーター 石丸 京子



「尼崎 21 世紀の森構想」について説明（高度経済成長により 100 年かけて壊してきた環境を、100 年かけて戻していく、という取り組み）尼崎の森中央緑地は埋立て地であり、生物多様性の森をゼロからつくるという、全国的にも珍しい取り組みを 19 年続けている。自然共生サイトに認定されたことは、過去 19 年の生物多様性を守る取組が認められた証拠であるとともに、全国から生物多様性の保全を期待される地域である。

1 高木北育成センター



小学 3 年生の生徒が、小学 1 年生、2 年生の時に尼崎の森中央緑地で学んだ環境学習について、作文を発表。綿を実際につむぎ糸にする体験から、自分ごとにしていく感動があったり、植物の育成等を通して、日常的な栄養の循環を体感した。体験を文章にして発表することは、自然体験教育の王道であり、生徒達は活動により心も育んでいる。

2 兵庫県立尼崎高等学校



地域連携や探求活動の場として尼崎の森中央緑地の森づくりにも関わり、イベントへの出展も毎年行っている尼崎高等学校は、「尼崎の森中央緑地」について同級生の認知度を調べ集計し、生物多様性について調査し、訪問による実際の感想を交えながら、尼崎の森中央緑地での環境学習への知見を深めた。

3 園田学園女子大学



森で植物や生き物に触れる機会を通じて知ってもらうことを目的とした、「つながりプロジェクト」について発表。環境学習のプログラム・クイズを考え、教える事で、自然への理解を深め、自身の興味関心を高めた。

4 みのり幼稚園



年に3回年長組の園児が自然学習に参加している。「わくわく」「どきどき」な体験の感想を、園に戻って年長が年少者に伝えたり、作品を通じて年少者に体験が派生していったり、「もったいないばあさん」など、命の繋がりや大切さなどへの気づきに発展している。日々の些細なことに気づけたのは、この活動のおかげで、今後も継続していきたい。

● 尼崎運河での環境学習について：NPO 法人人と自然とまちづくりと理事長

中岡 禎雄



水質浄化施設の機能や、学生たちとの活動、環境学習の内容について説明。尼崎の海の魚を釣り、運河の栄養を与えた畑の菜種から絞った菜種油で調理し食べるという、生き物や自然のジュンカンを学ぶことができる取組み等を紹介。学生がG20大阪サミットで発表するなど、活動が繋がっている。「人間も、他の生き物に役立つ」、「形は変わりつつも命はつながり続けること」を大切に活動している。

5 ネイチャークラブ他



高木北育成センターの小学3年生により、尼崎運河の環境学習での発見を発表。貝が水をきれいにすることにびっくりしたり、クルーズで風を感じたり、尼ロックの働きをクルーズから体感した体験を、表現豊かに発表。60枚のダイナミックな絵も展示した。

6 兵庫県立尼崎小田高等学校



「尼崎運河と庄下川の水質調査」「水中ドローンでの水中、海底の様子の調査」「閉鎖性水域の尼崎運河と大阪湾のプランクトン調査」を発表した。データ分析や統計分析、考察を行っており、尼崎運河が、課題を見つけ解決していく「探求学習の場」となっている。

7 徳島大学



19年間の尼崎運河での水質浄化の研究に加えて、環境学習会の様子と効果を発表。研究による成果を環境学習により広め、さらなる環境改善や人材育成に貢献していきたい。そして、学生にとっても成長の機会となっている。

●徳島大学上月教授からの総括



各学校からの発表を振り返り、まとめて頂いた。